



概要

この章では、Cisco Broadband Access Center (BAC) の概要、および BAC のインストール前に検討する必要がある要素について説明します。

この章で取り上げる事項は次のとおりです。

- [製品概要 \(p.1-2\)](#)
- [オペレーティング システム要件 \(p.1-2\)](#)
- [Network Registrar の要件 \(p.1-4\)](#)
- [BAC コンポーネント \(p.1-5\)](#)
- [インストール タイプ \(p.1-6\)](#)

製品概要

BAC は、スケーラブルな分散アプリケーションで、ブロードバンド サービス プロバイダーのネットワーク内にあるケーブル デバイスのプロビジョニング タスクと管理タスクを自動化します。BAC は、IP アドレス管理用の高速 DHCP サーバおよび DNS サーバが組み込まれた Cisco Network Registrar (CNR; Cisco ネットワーク レジストラ) とのインターフェイスを提供します。

BAC には冗長性やフェールオーバーなどの重要な機能があります。新しい環境または既存環境に BAC を統合するには、BAC の動作方法を制御できるプロビジョニング Application Programming Interface (API; アプリケーションプログラミング インターフェイス) を使用します。

BAC を拡張して、事実上あらゆる規模のネットワークに適合させることができます。BAC の分散アーキテクチャと集中管理は、ハイ アベイラビリティも実現しています。

オペレーティング システム要件

BAC は、Solaris 8 または 9 オペレーティング システムを実行している Sun SPARC コンピュータ上にインストールする必要があります。



(注)

BAC をインストールする前に、Sun Microsystems サポート サイトから推奨パッチをダウンロードして、インストールする必要があります。

出荷時の BAC には、必要な Java Runtime Environment (JRE; Java ランタイム環境) が *BPR_HOME/jre* に格納されています。Sun Java Standard Edition またはシステムで利用可能な Sun Java Enterprise Edition を BAC と同時にインストールするかどうかを選択できます。

BAC を正常にインストールするための推奨 JDK 1.5.0_08 パッチは、システムで稼働する Solaris のバージョンに応じて、次のようになります。

- Solaris 9 — 表 1-1 を参照
- Solaris 8 — 表 1-2 を参照

表 1-1 Solaris 9 用の JDK パッチ

パッチ	説明
113096-03	X11 6.6.1 OWconfig パッチ
112963-25	SunOS 5.9 リンカ パッチ
111711-16	C++ 用の 32 ビット共有ライブラリ パッチ
112785-57	X11 6.6.1 Xsun パッチ
111712-16	C++ 用の 64 ビット共有ライブラリ パッチ
113886-40	Solaris 用の OpenGL 1.3 パッチ (32 ビット)
113887-40	Solaris 用の OpenGL 1.3 パッチ (64 ビット)

表 1-2 Solaris 8 用の JDK パッチ

パッチ	説明
112396-03	/usr/bin/fgrep パッチ
111111-06	/usr/bin/nawk パッチ
108987-18	patchadd および patchrm パッチ
112003-03	64 ビット Solaris 8 iso-1 または iso-15 ではフォントセットをロードできないという現象用パッチ
111310-01	/usr/lib/libdhcagent.so.1 パッチ
108528-29	カーネル アップデートおよび Apache パッチ
108989-02	/usr/kernel/sys/acctctl および /usr/kernel/sys/exacctsys パッチ
112472-01	Lucida Sans Thai Typewriter の選択時、Font2DTest2 が打ち切られるという現象用パッチ
111308-05	/usr/lib/libmtmalloc.so.1 パッチ
112438-03	/kernel/drv/random パッチ
117000-05	カーネル パッチ
110386-03	RBAC 機能パッチ
111023-03	/kernel/fs/mntfs および /kernel/fs/sparcv9/mntfs パッチ
115827-01	/sbin/sulogin および /sbin/netstrategy パッチ
116602-01	/sbin/uadmin および /sbin/hostconfig パッチ
111317-06	/sbin/init および /usr/sbin/init パッチ
113648-04	マウント パッチ
109147-41	リンカ パッチ
108993-63	LDAP2 client、libc、libthread、および libnsl ライブラリ パッチ
119067-05	X11 6.4.1 Xsun パッチ
108921-25	CDE 1.4 dtwm パッチ
108434-22	C++ 用の 32 ビット共有ライブラリ パッチ
109326-18	libresolv.so.2 および in.named パッチ
108940-75	Motif 1.2.7 および 2.1.1 ランタイム ライブラリ パッチ
108435-22	C++ 用の 64 ビット共有ライブラリ パッチ
113886-40	Solaris 用の OpenGL 1.3 パッチ (32 ビット)
117350-43	カーネル パッチ
108773-26	IIIM および X Input & Output メソッドパッチ
113887-40	Solaris 用の OpenGL 1.3 パッチ (64 ビット)

Solaris 8 用の KDC パッチ

Solaris 8 に BAC コンポーネントの Key Distribution Center (KDC; 鍵発行局) を正常にインストールするために必要なパッチは、次のとおりです。

- 112438-01
- 109326-06

Network Registrar の要件

BAC をインストールする前に、次に示す Network Registrar の要件について理解する必要があります。

- BAC 2.7.1 では、Network Registrar 6.2.3.2 以上の使用を推奨します。少なくとも、バージョン 5.5.12 をシステムにインストールしておく必要があります。



(注) 6.0.3 より前のバージョンの Network Registrar と BAC を組み合わせて実行すると、このリリースの特定の機能が使用できなくなります。

- Solaris 8 または 9 が稼働するコンピュータに Network Registrar DHCP サーバをインストールする必要があります。
- BAC のフェールオーバー構成では、フェールオーバー用の 2 台の冗長 DHCP サーバを設定する必要があります。
- BAC をインストールしたら、フェールオーバー機能および BAC のインストール先ネットワークのトポロジを反映するように Network Registrar のスコープが設定されていることを確認します。Network Registrar サーバにフェールオーバーを設定する方法については、『Cisco Network Registrar User's Guide, 6.2.1』を参照してください。

BAC コンポーネント

BAC のインストールには、次のものがが必要です。

- Regional Distribution Unit (RDU)

RDU は BAC 構成のプライマリ サーバです。RDU は、BAC の中央データベースを保持しており、API からの要求を処理する唯一のエントリ ポイントです。

- 1 つまたは複数の Device Provisioning Engine (DPE)

DPE は、プロビジョニング情報と設定要求 (コンフィギュレーション ファイルのデバイスへの転送など) をキャッシュします。DPE はプロビジョニング グループの主要コンポーネントで、デバイスの RDU とのやり取りをすべて処理します。

DPE は、IP アドレスの割り当てを制御する Network Registrar DHCP サーバと統合されています。複数の DPE が単一の DHCP サーバと通信できます。

DPE にはプロビジョニングを可能にするソフトウェアがプレインストールされていますが、初期設定の一部を実行する必要があります。



(注) このリリースでは、DPE-2115 ハードウェア DPE がサポートされています。DPE-2115 関連のインストール手順については、次の URL にある『*Installation and Setup Guide for the Cisco 1102 VLAN Policy Server*』を参照してください。

www.cisco.com/en/US/products/sw/secursw/ps2136/products_installation_and_configuration_guide_book09186a00801f0d02.html

- KDC

KDC および DPE 登録サービスは、すべての音声テクノロジー Media Terminal Adapter (MTA) の認証を処理します。KDC が必要となるのは、音声テクノロジー処理をサポートするようにシステムを設定する場合のみです。

ラボ インストールを実行すると、KDC はラボ コンピュータにインストールされます。ただし、パフォーマンス上の理由から、コンポーネントをインストールする場合は、別のサーバに KDC をインストールしてください。

- 1 つまたは複数の Network Registrar サーバ

Network Registrar には、DHCP および Domain Name System (DNS; ドメイン ネーム システム) 機能があります。Network Registrar 内に Dynamic DNS (DDNS) を実装すると、導入しなければならないサーバ数が増えます。

インストール タイプ



(注) BAC をインストールする前に、「[BAC のインストール準備](#)」(p.2-1) で説明するインストール準備作業とチェックリストについて理解しておいてください。

このマニュアルでは、2つのインストールタイプについて説明します。

- コンポーネント — BAC のコンポーネントを 1 つまたは複数インストールします (RDU、Network Registrar 拡張、1 つまたは複数の DPE、および KDC)。詳細手順については、「[BAC のインストール](#)」(p.3-1) を参照してください。
- ラボ — ラボ環境で使用するための BAC をインストールします。BAC をネットワークに導入する前のデモンストレーションまたは評価用です。詳細手順については、「[ラボ環境へのインストール](#)」(p.4-1) を参照してください。

BAC はインストールプログラムの GUI または Command-Line Interface (CLI; コマンドラインインターフェイス) からインストールできます。